

経営健全化方針に基づく取組状況（令和2年度）

○法人名

秋田栗駒リゾート株式会社

○経営健全化方針を策定した理由

- ・平成29年度決算において、債務超過額が22,434千円となり単年度赤字となったため、策定したもの。

○財政的リスクの状況

	平成29年度決算	令和2年度決算	目標達成年度 (令和5年度)
債務超過額（千円）	22,434	74,599	0

○主な取組状況（令和3年6月現在）

【法人自らによる経営健全化のための具体的な対応】

- ・コロナ禍において、宴会等日帰り利用客が減少する中、栗駒山荘では人員を集中して宿泊部門を強化し、ホテルブランでは仕出しや入浴等に重点を置くなど、施設の需要に合わせた営業や稼働施設の効率化・合理化に取り組んだ。
- ・国や県、村の宿泊助成事業を積極的に活用するとともに、広告・宣伝活動も強化したことから、特に県内からの利用客が増加した。
- ・新型コロナウイルス感染拡大による休業期間中は、固定費の削減に努めたほか、これまで課題であった人員不足については、求職者を採用し派遣社員を削減したことなどから経費削減につながった。

【地方公共団体による財政的なリスクへの対処のための対応】

- ・法人の経営会議等への出席や各施設の経営改善に向けた方策を法人と随時協議している。
- ・施設の利用促進を図るため、宿泊助成事業や施設利用料金の助成、広告・宣伝活動など側面的支援を行っている。
- ・令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大により一時休業したことから、売上減少分の一部を運営経費として直接支援した。

○法人の財務状況

（貸借対照表から）

（単位：千円）

	平成29年度決算	令和2年度決算
資産総額	58,931	58,269
（うち現預金）	39,713	41,216
（うち売上債権）	10,172	12,182
（うち棚卸資産）	5,134	3,286
負債総額	81,365	132,868
（うち当該地方公共団体からの借入金）	0	0
純資産総額	△ 22,434	△ 74,599

（損益計算書から）

	平成29年度決算	令和2年度決算
経常収益	356,770	315,457
経常費用	358,156	316,826
経常損益	△ 1,386	△ 1,369
経常外損益	0	0
当期純損益	△ 1,590	△ 1,573